

第4期 NBRP・コムギ 第4回運営委員会

議 事 録

日時： 2020年8月28日(水) 10:30~12:30

場所：Zoom会議

出席者：23名

(1) 運営委員：

松岡 由浩(委員長)、大田 正次、川浦 香奈子、川本 祥子、小林 正智、佐藤 和広、
佐藤 豊、辻本 壽、土佐 幸雄、土門 英司、半田 裕一

(2) 実施者：

寺内 良平(課題管理者)、那須田 周平、太田 敦士、新田 みゆき

(3) 研究協力者：

竹中 祥太郎、西田 英隆

(4) その他

AMED ゲノム・データ基盤事業部 ゲノム医療基盤研究開発課

高山 卓三、笹土 隆雄、藤井 元

文部科学省研究振興局 ライフサイエンス課

依光 美樹

国立遺伝学研究所 ABS 学術対策チーム

鈴木 睦昭

NBRP 広報室

鈴木 智広

議長：松岡

書記：新田

【報告等】

(1) 運営委員の加入について

土佐幸雄氏と半田裕一氏が新しい運営委員として紹介された。

(2) 第4期 NBRP・コムギ 第3回 運営委員会議事録確認(資料1)

訂正等なし

(3) 第4期 NBPR・コムギ 組織確認 (資料2)

訂正等なし

(4) 実施体制の変更について (資料2)

課題管理者より、今年度から、代表者が那須田周平氏から寺内良平氏に交代したこと、課題を実施する拠点を物集女に移す作業を進めていること、事務局メンバーが変更となったこと、について報告された。

(5) AMED-NBRP ヒアリング (2020年8月5日) について (資料3)

課題管理者より、2020年8月5日に実施された AMED-NBRP によるヒアリングについて報告された。まず、ヒアリングでのプレゼンテーションが紹介された。そして、資料に沿って、AMED-NBRP からの「研究費使用、提供料」「収集・維持」「提供価格算出の根拠」「コロナ禍での対応」に関する質問への回答が報告された。また、ヒアリング後、AMED-NBRP 寄せられた追加質問（「収集数に関するリソース実績値について」と「リソースをサポートするコミュニティの位置付けについて」）への回答について、資料のように報告された。

(6) 2018-2019/2019-2020 年事業計画等の報告

(6-1) 種子リソース増殖 (資料4)

実施者より資料のように報告された。また、2020/2021 シーズンの系統栽培は、物集女で行うとの説明があった。また、発芽試験の結果について、普通系コムギについては、西洋品種と東洋品種で、発芽率が低下する貯蔵年数が大きく異なるとの実験結果があるとの指摘があり、この点も含めて、普通系コムギの更新サイクルを再検討することとなった。

(6-2) 種子リソース配布 (資料5)

課題管理者より資料のように報告された。

(6-3) NAM 集団ワーキンググループ (資料6)

研究協力者と実施者より資料のように報告された。

(6-4) アーカイブ化ワーキンググループ (資料7)

運営委員 (WG 座長) より資料のように報告された。

(6-5) KOMUGI データベースワーキンググループ (資料 8)

研究協力者より資料のように報告された。

(6-6) 学会等での活動 (資料 9)

課題管理者より資料のように報告された。渉外活動の担当について、「生物遺伝資源委員会委員」と「NBRP・イネとNBPR・オオムギの運営委員」が課題管理者に変更された。

(7) その他

運営委員長が作成した AMED-NBRP ヒアリングでの追加質問「リソースをサポートするコミュニティの位置付けについて」への回答(資料 3、p32-35) について、その内容が確認され、承認された。これにより、コミュニティとして、京都大学が中核となってリソース管理事業を行うことを要望することとなった。

【審議】

(1) 種子リソースの利用促進について

- ・ 「配布実績の経過」(資料 5) について、課題管理者より資料のように説明があった。
- ・ 「寄託システム運用」について、実施者より説明があり、外国からの寄託を受け入れる学内体制を整備中であることが報告された。
- ・ 「Wheat Initiative との連携」(資料 10) について、実施者より、資料に基づき説明があった。そして、Wheat Initiative との連携を通じて AMED-NBRP の要請である寄託の増加を実現し、NBRP・コムギの国際的な地位を確立するため、SMTA によるリソース配布の可能性を検討する必要があるとの提案がなされた。
- ・ 「SMTA」による種子配布」(資料 11) について、運営委員より資料のように説明があった。そして、NBRP・コムギにおいて SMTA で種子リソース配布を行い得るかについて審議がなされた。その結果、意見集約のため、課題管理者、実施者、関連の運営委員で別途検討することとなった(付記参照)。

(2) 第 5 期申請について

課題管理者より、今年度後半から来年度前半にかけて第 5 期に向けての計画をまとめ、次回の定例運営委員会に諮る予定であるとの説明があった。また、栽培植物起原学分野が主体となって申請に対応し、種子リソースとそれに関わるフィールド、形質、ゲノムなどの全情報が結合した体制を確立し、国際的な世界に誇れる NBRP・コムギを作っていくことを軸とすることが説明され、了承された。

(3) 「収集」集計方法の変更と目標値修正について

実施者より、AMED-NBRP ヒアリングでの追加質問「寄託数・収集数について」（資料 3、p29）に関連して、集計方法を NBRP 指定のように改め、今後の目標値を年あたり 100 系統程度とすることが提案され、了承された。報告書様式の記載方法については、実施者が検討し AMED に提示することを了承した。

（４） その他

該当なし

【その他】

（１） 小委員会について

委員長より、育種学会の状況をみながら、非対面方式での開催を検討することが提案され、了承された。

（２） 運営委員会録音記録について

委員長より、議事録作成後の録音記録は破棄することが提案され、了承された。

（３） その他

該当なし

以上

付記

委員会後の合議事項

2020年8月31日午後3時より、Zoomにて、佐藤和広（運営委員）、佐藤豊（運営委員）、小林正智（運営委員）、寺内良平（課題管理者）、那須田周平（実施者）の5名により、今般国際コムギ10+ゲノムプロジェクトでゲノム解読された17系統について、SMTAでの配布の可能性について検討された（次項参照）。その結果、「ゲノム配列解読の対象となった17系統について、NBRPの枠組みでSMTAによる配布ができるよう、関係者と引き続き調整を進める」ことが合意された。

以上

NBRP・コムギにおいて SMTA で入手した 16 系統のコムギ種子を収集・保存・配布することの是非について。

2020 年 8 月
31 日
那須田周平

1. 案件の詳細

目下、de novo ゲノム解読が進められている国際コムギ 10+ゲノムの材料(ゲノム配列を決めた植物の直接の子孫)については、英国の John Innes Centre (JIC)に種子を集積している。

<https://www.seedstor.ac.uk/search-browseaccessions.php?idCollection=35>

GRU Store Code	Sub Collection (idPlant)	Accession Name (Year)	Taxon Code	Source Country	Sowing Season	Sample Status	Comments	Cart
PANG0001	Pangenome (cd#39739)	ArinalrFor (2017)	Tri-ae5	-	Unknown	400		
PANG0002	Pangenome (cd#39740)	Cadenza (2017)	Tri-ae5	GBE	Spring	500		
PANG0003	Pangenome (cd#39741)	CDC Landmark (2017)	Tri-ae5	CAN	Spring	500		
PANG0004	Pangenome (cd#39742)	CDC Stanley (2017)	Tri-ae5	CAN	Spring	500		
PANG0005	Pangenome (cd#39743)	Claire (2017)	Tri-ae5	GBE	Winter	500		
PANG0006	Pangenome (cd#39744)	Jagger (2017)	Tri-ae5	USA	Winter	500		
PANG0007	Pangenome (cd#39745)	Julius (2017)	Tri-ae5	DEU	Winter	500		
PANG0008	Pangenome (cd#39746)	Kronos (2017)	Tri-ae5	USA	Spring	500		
PANG0009	Pangenome (cd#39747)	Lancer (2018)	Tri-ae5	AUS	Spring	500		
PANG0010	Pangenome (cd#39748)	Mace (2018)	Tri-ae5	AUS	Winter	500		
PANG0011	Pangenome (cd#39750)	Norin 61 (2017)	Tri-ae5	JPN	Winter	500		
PANG0012	Pangenome (cd#39751)	Paragon (2017)	Tri-ae5	GBE	Spring	500		
PANG0013	Pangenome (cd#39752)	Robigus (2017)	Tri-ae5	GBE	Winter	500		
PANG0014	Pangenome (cd#39753)	SY Mattis (2018)	Tri-ae5	GBE	Winter	500		
PANG0015	Pangenome (cd#39754)	Weebill (2017)	Tri-ae5	MEX	Spring	500		
PANG0016	Pangenome (cd#39755)	Baj #1 (2018)	Tri-ae5	MEX	Spring	500		

これらの 16 系統は JIC から SMTA を使って配布されている。
加えて、1 系統の *Triticum spelta* (USDA 由来) のゲノム が解読されている。

NBRP・コムギも国際コムギ 10+ゲノムに参画してきた。ゲノム配列についても NBRP・コムギのデータベースからも公開する予定である。ゲノム配列の解読された系統の種子は国内外の研究者コミュニティーで研究材料としてほしいという要望が高く、NBRP・コムギから配布を可能にしたい。

2. 検討すべき事項

NBRP において、SMTA での取り扱いを認められるか？
京都大学内における SMTA への対応への準備はできていない。

3. その他